



台帳番号：4-059-01

作品名：《柿二果図》

制作年：1933（昭和8）年

技法：木版多色刷 紙

画面寸法：12.8×18.3cm

紙面寸法：13.6×19.8cm

出品歴：第3回 日本版画協会展（日本現代版画展）（1933年）

**作品の概要：**

柿2つを主題とし、作品裏面から柿のオレンジ色を2段階にわけて摺っていることがわかる。また、オレンジ色の部分のみに光沢が見られ、これはニス掛けによる効果である。背景は光沢のある白で摺られており、手彩色のような印象を見せる。

**主な参考文献：**

川上澄生美術館『鹿沼市制70周年記念 斎藤清と川上澄生』鹿沼市立川上澄生美術館  
2018年

備考：



台帳番号：4-068-01

作品名：《時計の裏表》

制作年：1936（昭和11）年

技法：木版多色刷 紙

画面寸法：9.5×10.2cm

紙面寸法：20.7×21.1cm

出品歴：

作品の概要：

川上自身がコレクションしていた懐中時計の裏と表を描いたものと思われる。平面的な画面で、モチーフの左上と右下の懐中時計にのみ、ニス掛けがなされている。

主な参考文献：

川上澄生美術館『鹿沼市制 70 周年記念 斎藤清と川上澄生』鹿沼市立川上澄生美術館  
2018 年

備考：